

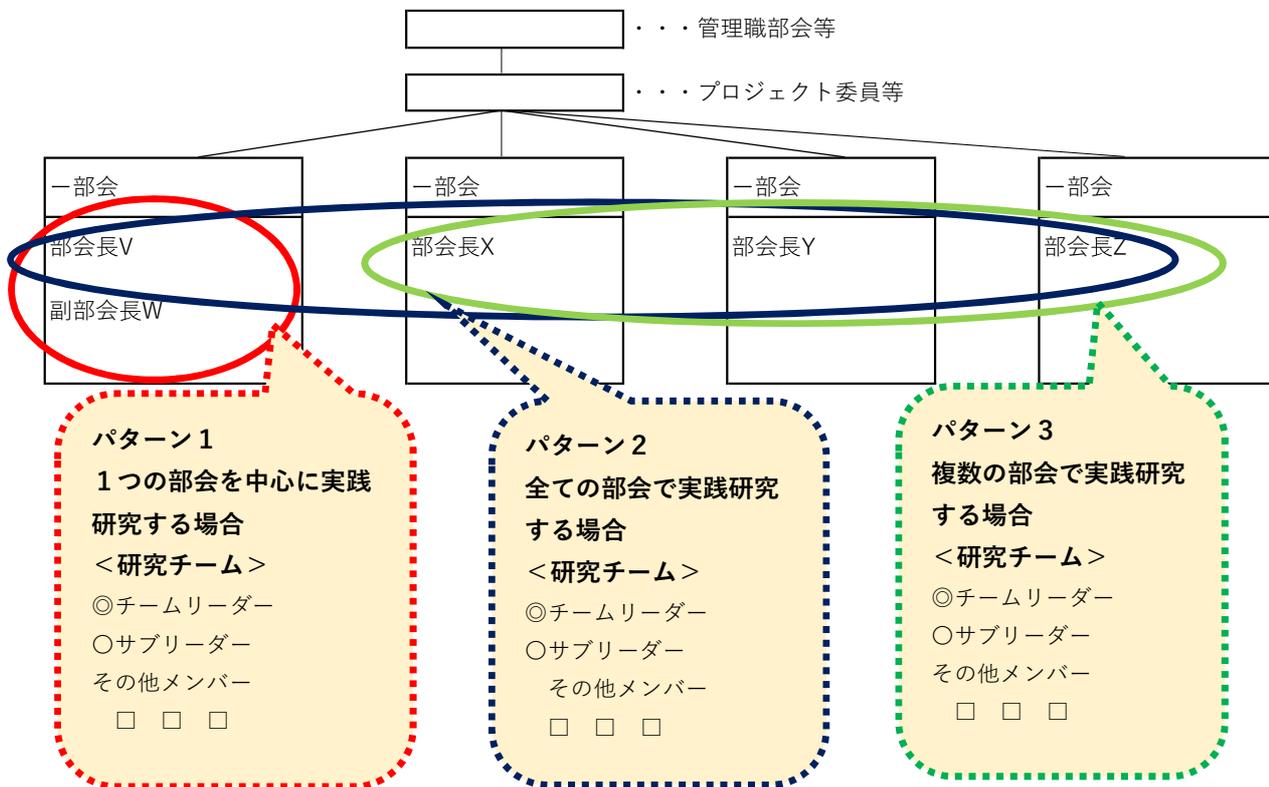
# ◆実践研究課題の取組

参考資料 1

各中学校区の特色として共通に取り組む課題を「実践研究課題」とし、2年間で1区切りとして研究を進めます。

## ○研究チームについて

- ・小中一貫教育の組織をもとに研究チームを作り、チームリーダー・サブリーダーを中心に研究を進めます。
- ・各校から1名以上入り、研究内容が各学校内で共有できるようにします。



## ○推進体制(例)

### 1 全体組織

	学力向上部会		児童生徒指導部会		健康安全部会		地域連携部会	
	学校名	氏名	学校名	氏名	学校名	氏名	学校名	氏名
部会長	あ	A	い	F	い	K	あ	O
副部会長	い	B	う	G	あ	L	い	P
	あ	C	あ	H	あ	M	う	Q
	い	D	あ	I	い	N	あ	R
	う	E	い	J				

※学校う は教員数が部会数より少ない

### 2 研究チーム

#### パターン3 複数の部会で実践研究する場合の例

	学校名	氏名	役割等
学力向上部会長	あ	A	チームリーダー
児童生徒指導部会長	い	F	サブリーダー
地域連携部会長	あ	O	
	う	EGQのうちの一	

研究チームには各校から1名以上入ってください。

○○中学校区 ○○部会

部会長		副部会長	
部員			

【目指す子ども像】

中学校区の目指す子ども像、及び地区全体で取り組む実践研究課題を記入する。

【実践研究課題】

【児童生徒の実態】

各部会の観点から見た児童生徒の実態を記載する。  
(優れているところ、直面している課題、各種調査等の結果、学校評価等)

【部会のねらい】

視点	<A> 教育課程の 工夫改善	<B> 教育活動の 連続性の確保	<C> 教職員間の 連続・協働	<D> 家庭・地域との 連携・協力
----	----------------------	------------------------	-----------------------	-------------------------

下記の取組と特に関連している項目1つに○印を付ける。

取組	実践－検証－評価 までを見通した取組とする。
成果	年度末に、成果・課題をまとめる。
課題	

【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日												
	P	D							C	A	P	

活動計画を記入する。

# 小中一貫教育実践の具体 第Ⅳ期 (R4~R7)

参考資料 3

※各中学校区で常態化されている項目に○、今後充実していく項目に●を入れ、具体策を記入してください。下記以外で取り組んでいることは、追加記入してください。

中学校区ごとに全職員で共有しましょう。

4つの視点		○	●	実践の具体
<b>(A)</b> 教育課程の工夫改善	学校経営			中学校区における目指す子ども像を共有している。
				各学校の学校経営方針を共有し、修正や改善を加えている。 (学校評価項目の見直しや成果指標の検討)
				実践研究課題や各部会の進捗状況等を確認し、小中一貫教育全体の研究組織を見直している。
				成果や課題を中学校区全体で共有できる場を工夫している。
	学校運営組織			小中一貫の日の運営や学校間の連絡調整を行っている。
				行事や日課表等、共通で取り組める内容を検討(実施)している。
				地域や保護者と学校経営方針を共有できるよう工夫している。
<b>(B)</b> 教育活動の連続性の確保	児童生徒交流			小中学校の児童生徒が交流する場を設定している。 (授業交流、学校行事、部活動等の体験等)
				交流活動等の取組について、検証や改善を図っている。
				子ども未来プロジェクトを推進している。
				「しもつけ未来学習」を活用した交流を実践している。
<b>(C)</b> 教職員間の連携・協働	職員研修、交流			合同研修(小中一貫の日)を実施している。
				授業研究会や、評価についての研究を進めている。
				各部会の取組について、9年間を見通した指導の目標を設定している。
				各部会の取組の成果指標(アンケート調査等を含む)を設定し、評価・改善サイクルを作っている。
				学校区で共通して取り組む内容を各学校の年間指導計画等へ反映させている。
				相互乗り入れ指導(授業を含む)を実施している。
				9年の系統を踏まえて年間指導計画を作成している。
<b>(D)</b> 家庭・地域との連携・協力	地域連携・PTA			PTA、地域が学校と連携して取り組む活動を実施している。
				学校運営協議会を開催し、地域の方々との協働に努めている。
				地域人材の活用を図っている。

※年度末には振り返りを行い、成果と課題を次年度へつなげてください。

